

令和6年度第2回碧南市文化財保護審議会次第

日 時 令和6年12月13日（金）午前10時から

場 所 碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和6年度文化財展の進捗状況について（資料1）

(2) 令和6年度文化財防火デー行事について（資料2）

(3) 令和6年度視察研修（案）について（資料3）

3 報告事項

(1) 令和6年度歴史系企画展の終了について

(2) 令和7年度歴史系企画展について（資料4）

4 その他連絡事項

展覧会企画概要書

- 1 名称：令和 6 年度文化財展 「碧南と鉄道展」
- 2 会場：碧南市文化会館 展示室 1
〒447-0872 碧南市源氏神明町 4
- 3 会期：令和 7（2025）年 2 月 8 日（土）～3 月 6 日（木） ※ 2 2 日間
- 4 開館時間：午前 9 時～午後 9 時
- 5 休館日：月曜日
- 6 観覧料：無料
- 7 主催：碧南市・碧南市教育委員会
- 8 開催趣旨：

碧南市域を縦断する名鉄三河線は、三河鉄道として大正 3 年（1914）2 月 5 日産声をあげました。大正 15 年（1926）9 月 1 日には大浜港（碧南）-神谷（松木島）間が開通するなど碧南を取り巻く交通に大きな影響を与えました。鉄道利用者は昭和 40 年代をピークに交通手段の時代は自動車へと移り鉄道利用者は減少、平成 16 年（2004）4 月 1 日をもって碧南～吉良吉田間は廃線となりました。

本年度は三河鉄道が開業して 111 年、名鉄三河線碧南-吉良吉田間が廃線となってから 20 年になります。

そこで本展では、碧南市に収蔵される関連資料に関して三河鉄道をはじめ、幻となった三美鉄道・信参鉄道などの鉄道計画や、三河鉄道と名古屋鉄道の合併の歴史などにふれつつ碧南市域を走る電車について、市に収蔵される資料・写真を中心にご紹介します。

- 9 担当：碧南市教育委員会文化財課文化財係 学芸員 築山拓磨
〒447-0082 愛知県碧南市源氏神明町 2 番地 市史資料調査室内
TEL 0566-41-4566 FAX 0566-41-1984

展示構想

第一章 鉄道の萌芽

碧南をとりまく未成線（参美鉄道、信参鉄道）の歴史
計画の中心となっていた新川町の岡本八右衛門について
八右衛門の没落と計画の頓挫

第二章 三河鉄道の夜明け

三河鉄道時代（大正3年～昭和16年）の歴史
三河鉄道を立て直した神谷傳伝兵衛について
大正15年の大浜港（碧南）～神谷（松木島）開通前後の各村駅誘致について
吉田初三郎が描いた鳥瞰図
昭和10年代の愛電との合併構想、昭和16年の名鉄合併のいきさつ

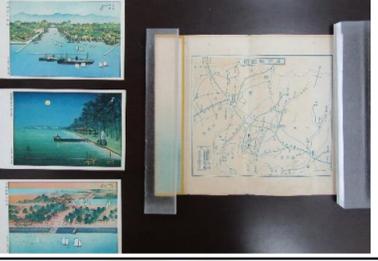
第三章 名鉄三河線の成長と碧南

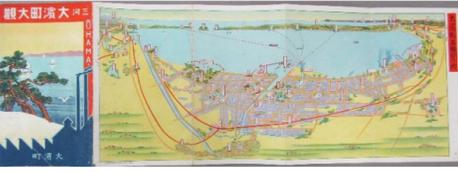
名鉄三河線時代（戦後～平成16年）の歴史
駅乗降者の変遷グラフ
貨物輸送の終焉と衣浦臨海鉄道の開業
高度成長期に策定された西三河地域総合都市計画

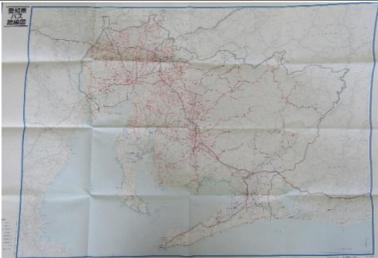
第四章 今に残る鉄道遺構

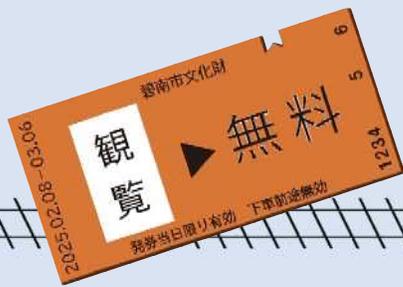
碧南～吉良吉田間廃線後（平成16年～現在）
碧南レールパークの計画と整備
市内各地の鉄道の足跡（北新川駅「きしゃにちういすべし」ホテル新須磨「新須磨駅駅標」等）

番号	画像	名称	作者等	形態	員数	法量(縦×横mm)		制作時代・年代	所蔵者	調査室史料番号			備考	
1		三河鉄道 営業案内		縦冊	1		×	大正3年 1914	高浜市					
2		三河鉄道 鬼瓦		瓦	1		×		高浜市					
3		信参鉄道 線路平面 図		地図	1		×	明治40 年 1907	豊田市中 央図書館					
4		大正5年 度碧海郡 統計一覽 表		地図	1		×	大正5年 1916	豊田市中 央図書館					
5		(「信三鉄 道株式会 社創立申 請書」等)		縦冊	2	280	×	200		新川町文 書	22-5	123		
6		(参美鉄 道株式会 社起業目 論見書)		縦冊	1	270	×	190		新川町文 書	22-5	149		
7		委任状 (新川町よ り足助町 に至鉄 道)	碧海郡鷺 塚村藤浦 善八郎ほ か		1	250	×	170	明治33年 4月20日 1900	鷺塚小学 校旧蔵史 料	491	735	600	
8		三美鉄道 線路略図		地図	1	540	×	392	明治28年 頃 1895頃	岡島家寄 贈資料	692-18	404	404	
9		中央鉄道 諏訪名古屋 間比較 線図		地図	1	540	×	392	明治	岡島家寄 贈資料	692-18	406	406	
10		開通記念 沿線名勝 絵葉書	三河鉄道 株式会 社	絵葉書	11	90	×	140	不詳	岡島家寄 贈資料 (3)	695-1	12	12	641 1- 1,1-3~6 と同一 693- 12と 同一

11		三河鉄道 名勝図絵	三河鉄道 株式会社	図絵	1		187	×	1110	大正13 年	1924		岡島家寄 贈資料 (3)	695-2	55	55	635 47 192-2と 同一
19		三河鉄道 名勝図絵	新美南果 絵 三河 鉄道	地図	1		187	×	1110	大正13年 7月	1924.7		山崎正広 氏 寄贈 資料	635	47	192-2	692 55と 同一
12		前堤事項 鑑定事項 発起より 破産まで の経過		文書	1		245	×	170	明治33 年	1900		岡島家寄 贈資料 (3)	695-2	59	59	
13		信三鉄道 株式会社 株券		株券	92		218	×	280	明治39 年他	1906		岡島家寄 贈資料 (3)	695-2	61	61	
15		主要幹線 道路網整 備基本計 画案図 衣浦東部 ブロック 主要道路 並鉄道計 画案図 蒲郡衣浦 線計画案	建設省等	地図	7				×				市史資料 調査室所 蔵 地図	551		36	
16		オール三 河名勝史 跡遊覧地 案内	名古屋新 聞社		1		175	×	720	昭和8年	1933		山崎正広 氏 寄贈 資料	635	47	192-1	
17		絵はがき 大濱絵は がき	大濱町	絵葉書	1		90 165	×	140 215	昭和初年 頃	1926頃		山崎正広 氏 寄贈 資料	635	45	190-2	
18		絵はがき 三河大は ま町	吉田初三 郎	絵葉書	2		90 175	×	140 200	昭和初年 頃	1926頃		山崎正広 氏 寄贈 資料	635	45	190-4	641 7- 1~3と同 一
20		絵はがき 三河西尾 町	西尾町役 場	地図	2		170	×	730	不詳			山崎正広 氏 寄贈 資料	635	47	192-3	
21		観光と愛 知	吉田初三 郎絵 愛 知観光協 会	地図	1		178	×	760	不詳			山崎正広 氏 寄贈 資料	635	48	193-2	641 6と 同一

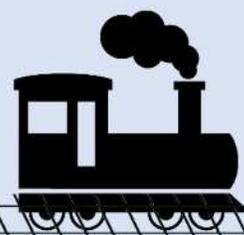
22		愛知県交通全図	高田芳三郎 編 名古屋新聞社 刊	地図	1		775	×	1080	昭和6年9月15日	1931.9.15		山崎正広氏 寄贈資料	635	64	209-1
23		中部日本交通全図	不詳(新愛知附録)	地図	1		395	×	545	大正12年1月1日	1923.1		山崎正広氏 寄贈資料	635	64	209-2
24		三河鉄道時刻表			1		149	×	600	昭和9年	1934		神谷正典氏寄贈鉄道関係資料			
25		蒲郡線全通記念絵葉書		絵葉書	1		179 90	×	188 141	昭和11年頃	1936		神谷正典氏寄贈鉄道関係資料			
26		秋の愛電沿線アイデンカレンダー 10 11月号			1		178	×	386	昭和5~10	1930~1935		神谷正典氏寄贈鉄道関係資料			
28		名古屋鉄道切符				37	30	×	57	昭和19年	1944~1946		棚橋みさ子寄贈民俗資料			
29		貨物台帳 岡島兵作		文書	1			×		昭和4年	1929		岡島家寄贈資料	692-17	347	347
30		三河鉄道関係(時刻表、案内状、名刺) 三河鉄道時刻表	三河鉄道株式会社	書籍	10			×		昭和7年~昭和9年	1932~1934		岡島家寄贈資料	692-17	348	348
31		大濱町大観 OHAMA 15.5×45 大濱町名勝案内(裏に詳しい説明) 吉田初三郎 絵			1	155		×	450				三河鉄道開通記念、新川・大浜名勝、八柱神社等 絵はがき	641		5
32		碧南中央駅開業記念資料 昭和十二年三河鉄道電車時刻表 碧南中央駅初日きっぷセット	名古屋鉄道株式会社	状	1袋			×		昭和12年(昭和56年12月14日)	1937(1981)		藤岡旭氏寄贈資料	653-23	513	

43		バス路線案内図					×							
44		沿線案内					×							
46		切符類					×							
47		名鉄電車時刻表					×				築山購入資料			



令和6年度文化財展

碧南と鉄道



三河鉄道

名鉄三河線

猿投～西中金間
碧南～吉良吉田間

開業

廃線

11年
20年

①



②



③



会期：令和7年2月8日(土)～3月6日(木)

午前9時～午後9時 月曜日休館 ※2月24日(月・休)は開館し、翌日休館

会場：碧南市文化会館 (碧南市源氏神明町4) 1階 展示室1

<観覧無料>

主催：碧南市教育委員会 所管：碧南市文化財課・市史資料調査室

①開通当時の大浜港駅(現碧南駅)周辺(大正3年) ③玉津浦海岸へ向かう御伽の国電車(昭和30年代)

②貨物であふれる大浜港駅(年月日不明)

碧南市域を縦断する名鉄三河線は、三河鉄道として大正3年（1914）2月5日に産声をあげました。大正15年（1926）9月1日に大浜港（碧南）～神谷（松木島）まで延伸すると、碧南の人々の交通や物流に大きな影響を与えました。しかし鉄道利用者は昭和40年代をピークに減少し、交通手段は自動車へと移り、平成16年（2004）4月1日をもって碧南～吉良吉田間は廃線となりました。

本年度は三河鉄道が開業して111年、名鉄三河線碧南～吉良吉田間が廃線となって20年になります。

そこで本展では三河鉄道関連の資料をはじめ、幻となった鉄道計画に関してや三河鉄道の歴史などにふれつつ、碧南市域の鉄道について市に收藏される写真・資料などを中心にご紹介します。



三河鉄道名勝図絵



プラットホームに立つ出征兵士
(昭和12年10月13日)



三河鉄道の社章が入った小垣江駅鬼瓦（高浜市蔵）



大浜港駅（現碧南駅）鬼瓦



碧南市指定民俗文化財

永坂左兵衛家鬼板枳形のうち大浜港駅停車場鬼瓦の枳形



大浜港駅（現碧南駅）駅舎(昭和初期)



三河鉄道開通記念絵葉書 部分

(※記載のないものはすべて碧南市蔵)

●ギャラリートーク

(担当学芸員による展示解説会)

無料 予約不要

令和7年2月15日(土)

3月1日(土)

ともに14時から30分程度。

展示会場にて行います。

●アクセス



名鉄三河線 碧南中央駅下車 東へ徒歩10分

●お問い合わせ

碧南市教育委員会 文化財課
市史資料調査室

〒447-0872 碧南市源氏神明町2

碧南市民図書館中部分館2階

TEL: 0566-41-4566

(開室時間: 火～土曜日 9～16時)

令和 6 年度文化財防火デー行事実施要項

- 1 期日 令和 7 年 1 月 1 6 日（木） 午後 1 時 4 0 分から（消火訓練は 2 時から）
- 2 場所 妙福寺（碧南市志貴町二丁目 6 1 番地）
- 3 内容
 - (1) 消防用設備等点検（午後 1 時 4 0 分から午後 2 時まで）
[衣浦東部広域連合碧南消防署員、立会：会場関係者]
消防用設備等の点検及び文化財管理状況を確認する。
 - (2) 消火訓練（午後 2 時から午後 2 時 4 0 分まで）
[衣浦東部広域連合碧南消防署員、会場関係者・地区住民]
出火想定による消火訓練
（通報、重要物件搬出、消防車出動、放水・消火等の訓練）
- 4 日程（進行の具合により、予定時間が多少前後することがあります。）
 - (1) 消防用設備等点検
 - 1 3 : 4 0 消防用設備等点検（衣浦東部広域連合碧南消防署）【簡易】
 - 1 3 : 5 0 点検結果報告（同上）
 - (2) 消火訓練
 - 1 4 : 0 0 あいさつ（碧南市教育部長）、消火訓練の説明
1 1 9 番通報、重要物件（市準備）持ち出し（会場関係者）
 - 1 4 : 1 5 消防隊による消火（放水）（衣浦東部広域連合碧南消防署）
 - 1 4 : 2 5 消火器による消火訓練（衣浦東部広域連合碧南消防署、参加者）
 - 1 4 : 3 5 講評（衣浦東部広域連合碧南消防署）
あいさつ（碧南市文化財保護審議会会長）
- 5 参加予定者
 - (1) 会場関係者・地区住民
 - (2) 衣浦東部広域連合碧南消防署職員
 - (3) 碧南市文化財保護審議会委員
 - (4) 碧南市教育部長、文化財課職員

文化財防火デー行事実施場所一覧

年度	地区	防火訓練	文化財調査	実施日
平成元年度	新川地区	山神社		
平成2年度	大浜地区	称名寺		
平成3年度	棚尾地区	妙福寺		
平成4年度	旭地区	池端蓮成寺		
平成5年度	西端地区	応仁寺		
平成6年度	新川地区	山神社		
平成7年度	大浜地区	海徳寺		
平成8年度	棚尾地区	妙福寺		
平成9年度	旭地区	遍照院		
平成10年度	西端地区	応仁寺		
平成11年度	新川地区	山神社		
平成12年度	大浜地区	熊野神社(上の宮)		
平成13年度	棚尾地区	妙福寺	中区稲荷社	
平成14年度	旭地区	池端蓮成寺	鷲塚天満神社	H15.1.24
平成15年度	旭地区	貞照院	伏見屋稲荷神社	H16.1.23
平成16年度	西端地区	康順寺	同左	H17.1.26
平成17年度	新川地区	白山社(久沓)	同左	H18.1.26
平成18年度	大浜地区	大浜稲荷社	同左	H19.1.26
平成19年度	棚尾地区	八柱神社	同左	H20.1.25
平成20年度	大浜地区	稲荷神社(前浜)	平等寺(前浜)	H21.1.23
平成21年度	西端地区	栄願寺	同左	H22.1.26
平成22年度	新川地区	専興寺	専興寺、秋葉社(松江町)、稲荷社(松江町)	H23.1.26
平成23年度	大浜地区	大浜熊野大神社	妻薬師堂	H24.1.26
平成24年度	棚尾地区	安専寺	同左	H25.1.14
平成25年度	旭地区	貞照院	同左	H26.1.23
平成26年度	中央地区	法城寺	同左	H27.1.27
平成27年度	西端地区	八劔神社	同左	H28.1.27
平成28年度	新川地区	精界寺	同左	H29.1.24
平成29年度	大浜地区	林泉寺	同左	H30.1.26
平成30年度	棚尾地区	光輪寺	同左	H31.1.24
令和元年度	旭地区	川端蓮成寺	同左	R2.1.22
令和2年度	中央地区	中山神明社	(中止)	R3.1.26
令和3年度	西端地区	応仁寺	同左	R4.1.19
令和4年度	新川地区	浅間社	なし	R5.1.20
令和5年度	大浜地区	平等寺	なし	R6.1.24
令和6年度	棚尾地区	妙福寺	なし	R7.1.16

地区名	開催回数
西端地区	6
新川地区	7
中央地区	2
旭地区	6
大浜地区	8
棚尾地区	7
計	36

令和 6 年度委員視察研修（案）について

1 視察先候補

- (1) みよし市立歴史民俗資料館（みよし市三好町陣取山 4 4 - 1）

視察内容 冬季企画展「第 4 3 回ひな人形展」

（会期：令和 7 年 1 月 1 8 日～ 3 月 1 6 日）

展示説明、市指定有形文化財「石川家住宅」の見学

- (2) 豊田市博物館（豊田市小坂本町 5 - 8 0）

視察内容 企画展「和食～日本の自然、人々の知恵～」

（会期：令和 7 年 1 月 1 8 日～ 4 月 1 6 日）

展示説明、バックヤードツアー

令和 7 年度歴史系企画展 展覧会開催要項（案）

- 1 名称 令和 7 年度歴史系企画展
「永井直勝没後 400 年 ^{ながい なおかつ} 長田・永井一族」^{おさだ}（仮称）
- 2 会場 碧南市藤井達吉現代美術館（愛知県碧南市音羽町一丁目 1 番地）
- 3 会期 令和 7 年 5 月 24 日（土）～7 月 6 日（日）（予定）
- 4 開館時間 午前 10 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで）
- 5 休館日 月曜日
- 6 観覧料 未定
- 7 主催 碧南市、碧南市教育委員会、碧南市藤井達吉現代美術館
- 8 協力 碧南市文化財保護審議会
- 9 開催趣旨

碧南が生んだ戦国武将・大名である永井直勝（1563-1625）が没してから令和 7 年で 400 年を迎えます。このことを記念し、本展では永井直勝を生んだ三河大浜（現愛知県碧南市）の長田家の足跡をたどるとともに、直勝以降江戸幕府を支えた永井家一族をみていきます。

永井直勝は三河大浜の長田平右衛門重元の子として生まれ、初め徳川信康の、のち徳川家康の小姓となり、一貫して家康の側近として活躍しました。また直勝の子には江戸時代初期に幕府における畿内支配の一翼を担った^{なおまさ}尚政・^{なおきよ}直清兄弟がおり、またその子孫には^{やまとくじらはん}大和櫛羅藩・^{みのかのうはん}美濃加納藩・^{せつつかつきはん}摂津高槻藩の大名などとして徳川將軍家を支え明治維新を迎えました。

そこで本展では、これまであまり触れられなかった直勝を生んだ長田氏や、江戸時代の永井氏に関する歴史資料などを展示することで、主に戦国期から江戸時代にかけての一族の様子をご覧いただきます。

これにより、碧南が生んだ戦国武将・永井直勝から広がる一族の歴史を通して、地域を見つめるきっかけとなれば幸いです。

- 10 関連行事
(1) 記念講演会 地下 1 階多目的室にて、定員 60 名、聴講無料
演題・講師・日時未定

（裏面につづく）

(2) ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会) 午後2時から30分程度
日にち未定

11 図録 B5版変型、部数未定、価格未定

12 担当学芸員 碧南市教育委員会文化財課文化財係長 豆田誠路

愛知県碧南市音羽町一丁目1番地 0566-48-6602